

KAWATABI

Press

かわたびほっかいどう
公式WEB新聞
【かわたびプレス】

Vol.13
2026
February

Photo:石狩大橋から望む冬の石狩川(江別市)

かわたび
ほっかいどうへは
こちらにアクセス!



かわたびほっかいどう
公式キャラクター

表情豊かに「かわたび」を
盛り上げます。北海道の河
川をイメージした前髪が
チャームポイントです!



かわたび 情報局

北海道開発局の取り組みから
気になる話題をピックアップ!

えべつかわまちフェスが
かわたびほっかいどう
大賞に選出されました!

発信
かわたびほっかいどう事務局

2021年度にスタートし、今回で5回目の開催となった「かわたびほっかいどう大賞」。この一年に実施された340件を超える川に関する活動の中から、活力ある地域コミュニティの実現や継続性、独創性等といった視点で評価し、特に優れた取り組みを表彰するも



のです。2月2日に開かれた今年度の活動報告会では、エントリーした11団体が登壇。活動のバックボーンや工夫した点などを発表しました。1団体5分という限られた持ち時間ながら、地域色あふれる多様なプレゼンテーションが続き、審査員も関心を寄せながら聞き入っていました。

審査の結果、今年度の大賞には、えべつのまちづくり株式会社と札幌開発建設部江別河川事務所による「えべつかわまちフェス2025」が選出。イベントを通じた地域との関係構築や運営会社の設立などの継続性や川を軸にしたまちづくりを見据えた将来性が高く評価されました。審査員からは「江別の原

左上)「えべつかわまちフェス2025」は江別市かわまちづくり計画と一体となった取り組み。

左下)今年も報告会ではさまざまな取組が発表されました。

右下)報告会終了後にパチリ。ご参加いただいた皆様、お疲れ様でした!



点である川に注目した取り組みに、歴史の観点から魅力を感じます」との声も寄せられ、さらなる発展への期待が高まっています。

また、優秀賞には、NPO法人ダウン・ザ・テッシと旭川開発建設部名寄河川事務所による「ダウン・ザ・テッシ-オ-ベツ2025」が選ばれ、30年以上続くイベントの継続性が評価されました。

拡がりや深化をみせる「かわたびほっかいどう」の取り組み。今後も持続可能な地域づくりのモデルとして、さらなる展開が期待されます。



11件の活動概要はこちらをチェック▶

川へ行こう!
川を楽しもう!



かわたび
ほっかいどう

北海道の水辺の観光情報サイト

かわたびほっかいどう

Search!

<https://kawatabi-hokkaido.com/>



SNSでも情報発信中!



注目記事をフカボリ！

かわたびほっかいどう大賞、優秀賞を受賞した記事をご紹介します！

大賞



「えべつかわまちフェス2025」が開催！



2025.10.14公開

取組機関

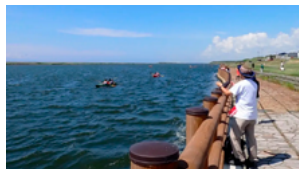
えべつのまちづくり株式会社、札幌開発建設部江別河川事務所

川とまちが響き合う、未来創造イベント

江別市かわまちづくり計画実現に向けた実証実験として、「えべつかわまちフェス2025」が開催されました。江別市大川通地区の洪水敷を舞台に、焚き火やグルメ、和太鼓演奏、スポーツ選手を講師に招いたスポーツ講座、サウナ体験、調査船「弁天丸」乗船など多彩なプログラムを展開し、「まちなかの大自然」を自分らしく楽しめる一日を創出しました。歴史や水害への学びも織り交ぜ、川とまちの魅力を体感できる場となりました。実証実験をもとに、将来的には年間1万人の集客を目指す継続的なイベントの土台となることを目指しています。

〈審査員より〉地域住民をはじめ、江別市内の4大学や地域企業と連携し、着実につながりを広げてきた点が評価できる。まちづくり会社の設立により継続性と事業性も高まり、川を軸に広がる今後に期待が膨らむ。

優秀賞



「イベント」 ダウン・ザ・テッシ-オ-ペツ 2025



2025.6.18公開

取組機関

NPO法人ダウン・ザ・テッシ、旭川開発建設部名寄河川事務所

30年を超えて愛される天塩川の水上交流

北海道遺産でもある天塩川をカヌーで下る長距離ツーリング大会。30年以上の歴史があり、流域13市町村が連携し開催されています。32回目である2025年大会は2日間をかけ、幌延町三日月湖～天塩町河川公園間の23kmを下りました。参加者は国内外から集まった100名以上のカヌー愛好家たち。河口まで完漕した参加者は「完漕証」を手し、弾ける笑顔を見せていました。2026年大会は7月の開催を予定しており、昨年に引き続き、多くの参加者とともに天塩川流域が笑顔に包まれる大会となりそうです。

〈審査員より〉天塩川流域の市町村と連携し、国内外から参加者を集める川下りを30年以上も継続してきた点が高く評価できる。完漕認定証の授与などの楽しい工夫も重ね、地域の魅力発信力が輝いている。

SNS写真館



国土交通省 北海道開発局
室蘭開発建設部
@mlit_hkd_mr



全道の各開発建設部では
様々な情報をX(旧Twitter)で発信中！

2月7日、#二風谷ダム湖 で#平取町長靴ホッケー大会 が開催されました！ #鶴川沙流川河川事務所 から出場したチームを含む9チーム92名が世界初のダム湖上のリンクで熱戦を繰り広げ、観客の声援も加わり会場全体が盛り上がりました！次年度はさらに参加規模拡大予定とのこと。



編集・制作
かわたびほっかいどう
サポートデスク

〒001-0011
札幌市北区北11条西2丁目2番17号
セントラル札幌ビル2階
TEL 011-299-7708
FAX 011-299-7550